

飲み物にまつわる体験談 & 小ネタ

ジャンル・ カテゴリー	国・地域	体験談
ワイン	フランスなど	ワイナリーで試飲すると市場に出回っているものよりおいしく感じる。気分の問題かもしれないが、温度管理や酸化防止剤の影響もあるかもしれない。実際、船便で赤道をまたいで運搬する場合など、味はかなり劣化する。
ビール	西洋	本で読んだネタ。 ビールはかなりの昔、バビロニア(紀元前1800年~)時代からあったそう だ。ハンムラビ法典では、ビールに関する法律も細かく定められていたらしい。 「ビアホールではビールの代金を穀物以外で受け取ってはならない」「質の 悪いビールを客に高く売りつけてはならない」「尼僧がビアホールを経営し てはいけない」「ビールを水で薄めたら溺死刑」など。
白酒	中国	白酒を買って飲んだら、酸味が異常に強くてまずかった。おかしいと思って 捨てた。後でガイドに聞いたら、メチルアルコール入りのニセモノだということ が判明。 中国では、ブランド品かそうでないか、値段が高いか安いかに関わらず、 ニーズがあればニセモノが出回る。
コーヒー	ミャンマー	ヤンゴンで旅行代理店の人に食堂に連れて行ってもらった時のこと。「ミヤ ンマーのコーヒーを飲んでみないか?」と言われ、注文して期待して待って いたところ、お湯と(粉末)ネスカフェが出てきた。 『もの食う人びと』(辺見庸)にフィリピン先住民の長老がネスカフェにはま った話が出てくるが・・・「文明は世界を画一化する」ということを実感。
コーヒー	イタリア	イタリアでエスプレッソが発明されたのは、戦争で良質のコーヒー豆が手に 入らなくなった際に、悪い豆でどうやって美味しく淹れるのか? を考えた 末のことらしい。まさに「窮すれば通ず」。
お茶	シンガポ ール	暑い夏、食堂で烏龍茶を頼んだら、熱いお茶が来た。「冷たいのをお願いし ます」と頼んだら、店員さんは困った顔をして引っ込んだかと思うと、しばら くして氷を持ってきた。 中華系の民族には、お茶を冷やして飲む習慣がないらしい(最近では普及し てきているようだが)。 中国には「冷たいものを体に入れるのは良くない」という俗説があるとい うのを後で中国在住の日本人から聞いた。
お茶	スリランカ	ヌワラエリアの紅茶工場を見学した際に、静岡県のメーカーの機械(緑茶向 け?)が使われていた。日本の技術はこういう場所でも使われているのだ と感心した。
お茶	中国	昆明に行ったときに聞いた話。プーアル茶は長期保存できるので、中国で は「資産」として購入する人も多いという。 一方、中国バブルの崩壊により、プーアル茶の値段が暴落したという話も その後聞いた。
お茶	中国	これも中国在住の日本人から聞いた話。上海で反日デモが起こった際に、 学生はサントリーのウーロン茶を片手に暴動を起こしていたらしい。政治行 動と消費行動は全く結びついていない様子。

ジャンル・ カテゴリー	国・地域	体験談
お茶	インド	「インドといったらチャイ」と思っていたら、南インドでは意外にコーヒーも多く飲まれていた。コーヒーも意外においしかった。
お茶	アジア ヨーロッパ	『深夜特急』(沢木耕太郎)に書いてあったこと。 お茶の名前が、Cha(茶) Cha Teaというように、西に行くと頭文字が「C」から「T」に変わる。その境目がアジアとヨーロッパの境目と一致するのではないか？ これを読んで「なるほど」と思った。
缶入り飲料 (お茶など)	アジア諸国 ほか	さっぱりしたものが飲みたいと思って缶入りのお茶を買ったら、甘ったるかかったり、炭酸入りだったりして、逆効果だった… という人多し。 世界では、パッケージ入りの無糖飲料というのは、日本と比べて少ない様子。
コーラ	欧米	コーラは元々「薬品」として発明されたい。アメリカでは「頭痛薬」として売り出されたので、今でも頭が痛いときにコーラを飲む人がいるとか。フランスでは風邪を引いたらコーラを飲む人がいるという話も聞いたことがある。実際に見たことはないの、真偽の程は不明。
コーラ	アメリカ	コーラ工場で試飲をしたら、炭酸の量が多くて、売られている品よりもはるかにおいしかった。コーラでも、できたては味が違う。
飲料全般	世界	日本では、ペットボトルや缶入りの飲料はどこで買っても値段はほとんど変わらない(山の上や映画館の中で多少高い程度。しかし、海外では買う場所によって値段が倍以上変わったりする。レジで以外に高い値段を請求されて驚くことも。